

平成 25 年 5 月 14 日

各位

上場会社名 太平洋興発株式会社
代表者 代表取締役社長 佐藤 幹介
(コード番号 8835)
問合せ先責任者 経理部長 上原 與章
(TEL 03-5830-1602)

平成 25 年 3 月期通期業績予想値と実績値との差異及び特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ

平成 24 年 5 月 14 日に公表しました平成 25 年 3 月期通期業績予想数値と本日公表の決算において実績値に差異が生じたのでお知らせするとともに、特別損失（減損損失）の計上を行うことになりましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 3 月期 通期業績予想値と実績値の差異（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

（1）連結業績予想数値と決算における実績値との差異

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	31,000	800	700	400	5.90
今回実績（B）	27,953	897	909	383	5.65
増減額（B－A）	△3,047	97	209	△17	
増減率（％）	△9.8	12.1	29.8	△4.2	
（参考）前期連結実績 （平成 24 年 3 月期）	31,943	781	887	352	5.19

（2）個別業績予想数値と決算における実績値との差異

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	22,000	—	350	250	3.69
今回実績（B）	16,797	479	563	254	3.75
増減額（B－A）	△5,203	—	213	4	
増減率（％）	△23.6	—	60.8	1.6	
（参考）前期実績 （平成 24 年 3 月期）	21,515	456	510	239	3.53

(3) 差異の理由

売上高につきましては、個別の商事事業の内輸入炭販売数量の減少及び販売単価が下落したことを主因に予想を下回りました。

また、利益面につきましては、営業利益及び経常利益は、北海道帯広市で行っている新規分譲マンションの販売戸数が増えたこと及び受取配当金が予想より上回ったため増益となりましたが、当期純利益は、減損損失を特別損失に計上したことにより、ほぼ当初見込み通りの結果となりました。

2. 特別損失計上の理由

現在の事業環境を踏まえ、遊休資産については、継続的な地価の下落が生じており、有料老人ホーム施設及び硫安（農業用肥料）製造設備については、営業活動から生じる損益が継続してマイナスであり、今後も収益改善に時間を要することと判断されたことから、当該資産の帳簿価額を、回収可能価額まで減損し、減少額を減損損失として206百万円を特別損失に計上いたしました。なお、本件につきましては、本日公表いたしました「平成25年3月期 決算短信」に反映しております。

(内訳)

場所	用途	種類	減損損失計上額
北海道釧路市	遊休資産	土地	(個別) 31 百万円
北海道帯広市	有料老人ホーム施設	建物及び構築物他	(個別) 124 百万円
北海道常呂郡訓子府町	硫安（農業用肥料）製造設備	機械装置及び運搬具	(連結) 51 百万円

以 上